

やまのふくし

発行

八木学区
社会福祉協議会



福祉の増進

住みよく明るいまちづくりをめざして

八木学区社会福祉協議会 会長 坂本 達雄



みなさん、はじめまして、この度 前任の関城 良典会長（現顧問）が八木学区地域運営組織設立（以下エルモという）にともない、エルモの会長に就任されましたのでその後任として八木学区社会福祉協議会の会長を仰せつかりました坂本達雄です。

これからの2年間、「福祉の増進 住みよく明るい地域づくり」のために役員の方々と共に努めてまいりますのでご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。令和7年度の八木学区社会福祉協議会の役員は別記の通りです。（下記参照）

さて、コロナウイルスの分類が5類になり様々な地域活動が以前の状態に戻りつつありますが少子高齢化が進み地域活動も満足にできない状況も散見されます。合わせて猛暑・大雨と異常気象のため高

八木学区地域運営委員会

会長 関城良典

八木のふくしの紙面上で、以前よりお伝えしておりました、広島型地域運営組織「広島LMO（エルモ）」が、7月17日、広島市から正式に認可されました。正式名称は、国の法律が一部改正された関係で、八木学区地域運営委員会になります。

構成団体は、八木学区連合町内会など地域を代表する12団体と、八木小学校、城山北中学の2団体を加えた14団体です。

団体の役員は、以下の通りです。

会長 関城 良典
副会長 引地 武 （連合町内会会長）
副会長 増田 博三（八木学区体育協会）

年齢者をはじめとして多くの方々に支障が出ているのではないのでしょうか。

（八木学区の状況）令和7年4月現在

- ・世帯数 3234世帯
- ・人口総数 6311人
- ・年少人口（0～14歳） 679人
- ・生産年齢（15～64歳） 3734人
- ・高齢者（65～74歳） 806人
- ・後期高齢者（75歳～） 1092人
- ・高齢化率（%） 30.1%

これらの状況を踏まえ福祉の増進に注力した事業を進めていきます。

従いまして、以前は諸イベント、街づくり等について旗振りをしていましたがこの分野は、エルモの方で推進されます。

5月17日に開催されました八木学区社会福祉協議会評議委員会（総会）において今年度の事業計画案を承認していただきましてので、その概要をお知らせし

会計 寺田 真理（母子寡婦福祉会）

監事 松尾和則（青少年健全育成連絡協議会）

協議会）

監事 新村 洋子（社会福祉協議会）

事務所は八木集会所2階です。現在開設準備をしておりますが10月初旬にはオープンさせる予定ですので、ぜひ一度お立ち寄り下さい。

さて八木学区地域運営委員会の業務ですが、構成団体が行う地元を盛り上げるために行う各種取り組みに対して、広島市からいただいた補助金を原資に、金銭的バックアップを行うことと、地域のいろいろな課題に対して、前向きに解決を目指していただくことです。八木をもっと良くしよう、もと住みやすく楽しい街にしていこう、



福祉委員、町内会・自治会長

合同研修会

社会福祉協議会

副会長 新村 洋子

令和7年7月26日に福祉委員、町内会長、自治会長の合同研修会が開催されました。福祉委員の役割について、安佐南区社会福祉協議会の尾田様より丁寧に分かりやすくお話いただきました。

八木学区では、福祉委員はおおむね各自治会・町内会に1名は設置されています。地域住民の大切な仲間でもある福祉委員は福祉のまちづくりを推進し、地域活動を通してアンテナ役として、またパイプ役として、活動していただきたいと思います。話がありました。

百歳体操世話人交流会

事務局 田中 早苗

8月29日に百歳体操世話人交流会を開催いたしました。

始めに城山北・城南地域包括支援センターの村上さんに百歳体操からの「やぎさんネット」登録についての説明をして頂きました。その後グループワークでは各地区での取り組みや課題について話し合い情報を共有し、より連携を深めることができました。最後は安佐南区社会福祉協議会の尾田さんのご協力のもとターツや輪投げをして和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深めることができました。

八木学区盆踊り大会の開催

八木学区盆踊り大会実行委員会

委員長 森川 一成

八木学区恒例の盆踊り大会が、8月2日八木小学校グラウンドにおいて開催され、今年も地域から多くの方々にご参加いただきました。ありがとうございました。

今年は、いつもの炭坑節やドンパン節などに加え、子供たちにも大人気のアンパンマン音頭も取り入れた他KDSダンススクールやダンス披露、高校バンドドリートの演奏、安来節などいろいろな発表等多種にわたるプログラムとなり、皆さんに楽しんでいただけたのでは

た。ご参加して頂いた世話人の皆様、ご協力頂いた城山北・城南地域包括支援センター、安佐南区社会福祉協議会の皆様ありがとうございました。今後このような交流の場を通じて、地域の横の繋がりを強化していきたいと思ひます。



防災研修について

八木学区連合町内会Aブロック

上一ツ矢町内会長 升本 正司

8月24日(日)に八木学区連合町内会の4地区(下一ツ矢、上一ツ矢、迫細、パラッショオ八木)合同の防災研修が八木集会所で、24名の参加者のもと実施されました。

前半は、広島県消防保全課より、土砂災害で、全国で一番危ない場所が多いのは広島県で、約48000箇所もあることから、災害が起きる前の地域防災タイムラインを作成することが、危機管理として非常に重要になると話されました。

そのためには、事前に防災グッズの準備、避難する際の声掛け先・土砂災害ハザードマップ(避難場所、危険区域)の確認をし、大雨が降った際には、明るいうちの避難、家族や近所と声を掛け合っ

ないかと思ひます。

また、大会の準備運営に関わっていただいた地域各団体の皆様、夜店の出店にご協力いただいた皆様には深く感謝申し上げます。今年の盆踊り大会の直前には八木学区地域運営委員会(LMO・エルモ)が設立され、来年には八木学区一致団結し、さらにグレードアップした盆踊り大会にご期待ください。



ての早め早めの避難(特に高齢者には警戒レベル3での声掛け)をする。

また、地震に関しては、南海トラフ地震が30年以内に80%の確率で起こる可能性(安佐南区は震度6弱)があることから、非常時の持出品、備蓄品の備え、家具類の転倒防止対策等を確実に



に行うなど適切な防災行動がとれるよう備えることが大切である。

後半は、安佐南消防署の方より、心肺蘇生法、AEDの使用方法について学びました。心臓が停止して、1分間で10%助かる可能性が下がり、救急隊が連絡を受けて現場に到着するのに平均8分かかることから、心肺蘇生が必要な状態であれば躊躇なく進めてほしいと話されました。また、AEDの使用については、難しく考える必要はなく、

①とにかく電源を入れる。②あとは案内をよく聞いて進める。という流れで、安全確認を十分に行ってほしいとのことでした。

今後、刻々と変化していく災害が発生する危険が高まった時、各自の取巻く環境に合わせて、【いつ】【誰が】【何を】するのかを時間軸で整理し、自分自身がとるべき防災行動を再度見直しておきたいという思いを強く持ちました。また、救急法においても、研修で学んだことを定着するために、定期的に資料をみながら思い起こして、個人的なトレーニングを重ね、緊急の状態に躊躇なく対応できるように準備もしておきたいです。

青少年健全育成協議会バス見学ツアー

事務局 田中早苗

八木学区青少年健全育成協議会では今年度初めて八木学区・梅林学区の子どもと保護者を対象にバス見学ツアーを企画いたしました。行き先は福山にあるエフ

ピコというリサイクル工場と岡山県の笹岡市にあるカブトガニ博物館です。当日は子ども21名、大人16名総勢37名の参加でした。

まず、リサイクル工場では役員の方が回収トレーのリサイクルされていく過程をわかりやすく説明していただきました。その後、休日のところ工場も少し稼働させてもらい見学することが出来ました。

トレーが選別される仕組みや速さにはビックリしました。

リサイクルトレーを通しより環境への配慮の大切さを学びました。午後からはカブトガニ博物館へいきました。カブトガニはちょっと地味な生き物でしたが(笑)2億年も生き延びているそうです。

そうしてバス見学ツアーは楽しく無事に終わりました。ご参加して頂いた皆さん、休日対応して頂いたエフピコの皆様、またこのバス見学ツアー

は今年7月に認可されました八木学区地域運営委員会の大なるご協力のもと実行出来ました。本当にありがとうございました。次回はどんなツアーを企画しようかな。楽しみにしています！



編集後記

今年の夏は猛暑、酷暑、酷暑と暑い日が続きましたね。この様な状況の中でも、各町内会での百歳体操が定着し、皆さんの笑顔や笑い声が地域の絆を深めていると思います。これからも心と体の健康を維持するよう継続していきましょ。

八木学区社会福祉協議会広報部

社会福祉協議会事務局

田中 (873-4236)
田中 (873-2218)

